

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 2 号）の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、ご参照の上、防除指導方よろしくお願
いたします。

記

情報の内容 ヤノネカイガラムシ第一世代幼虫の発生について

対象作物 かんきつ類

発生時期 平年並

1 発生状況

ヤノネカイガラムシの第一世代幼虫の初発は、南予地域の遅い地点で 5 月 9 日と平年に比べ
5 日遅いものの、その他の 3 地点は平年並（5 月 6～7 日）の発生であり、中予地域の早い地
点で 5 月 9 日であるが、その他の地点は平年並（5 月 12 日）の発生となっている（表 1）。以
上のことから、全体的な発生時期は平年並と判断している。

2 発生生態

カンキツ類にのみ寄生し、主に成虫で越冬して年 3 回発生する。第一世代の幼虫は 5 月上・
中旬頃に発生し始め、2 齢を経て成虫となる。成虫に達するまでの期間は 45～60 日程度である。
第二世代幼虫は 7 月中・下旬頃、第三世代は 9～11 月に発生する。

3 被害

葉や枝に多数寄生すると、落葉するとともに激発した場合は樹全体が枯れることもある。果
実に寄生すると商品価値が著しく低下する。

4 今後の防除上の注意と対策

- (1) 幼虫期に薬剤散布する必要がある、防除適期は第一世代幼虫初発日から 30～35 日後である。
但し、アプロード水和剤、アプロードエースフロアブル及びモベントフロアブルは散布時期
を早める必要がある、第一世代幼虫初発日から 20～25 日後がその時期にあたる（表 2）。
- (2) アプロード剤、スプラサイド乳剤 40 の感受性が低下している園地がみられるので注意する。
- (3) 1 か月予報（5 月 12 日発表）によると、気温が平年並か低いと予想されており今後の生育
が早まる傾向はないとみられるが、防除時期が遅れないようにする。

表1 令和4年 ヤノネカイガラムシ第一世代幼虫初発日

対象地域	調査地点	標高(m)	初発日	平年	平年比較
南予地域	八幡浜市合田	100	5月7日	5月7日	並
	八幡浜市川上	50	5月9日	5月4日	5日遅い
	八幡浜市真網代	130	5月6日	5月6日	並
	八幡浜市向灘	150	5月7日	5月7日	並
中予地域	松山市粟井1	60	5月9日	-	-
	松山市下伊台	200	5月12日	5月13日	並

平年：平成24年～令和3年の10年間

「-」：平年値無

表2 ヤノネカイガラムシに登録のある主要薬剤(令和4年愛媛県農作物病害虫等防除指針抜粋)

薬剤名	希釈倍数	IRAC コード	使用時期/使用回数		人毒	水産 (注)
			かんきつ(温州みかん除く)	温州みかん		
※アブロード水和剤	1,000倍	16	収穫45日前まで/3回以内	収穫14日前まで/3回以内	普	○
※アブロードエースフロアブル	1,000倍	16+21A	収穫45日前まで/2回以内	収穫14日前まで/2回以内	普	×
※モベントフロアブル	2,000倍	23	収穫7日前まで/3回以内	収穫7日前まで/3回以内	普	○
スプラサイド乳剤40	1,500倍	1B	収穫90日前まで/4回以内	収穫14日前まで/4回以内	劇	△
ダーズバン乳剤40	1,000倍	1B	収穫60日前まで/1回	収穫30日前まで/2回以内	劇	×
ダーズバンDF	2,000倍	1B	収穫60日前まで/1回	収穫30日前まで/2回以内	劇	×
アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	4A	収穫前日まで/3回以内	収穫前日まで/3回以内	普	△
オリオン水和剤40	1,000倍	1A	収穫14日前まで/3回以内	収穫14日前まで/3回以内	劇	△
コルト顆粒水和剤	3,000倍	9B	収穫前日まで/3回以内	収穫前日まで/3回以内	普	△
トランスフォームフロアブル	2,000倍	4C	収穫前日まで/3回以内	収穫前日まで/3回以内	普	○

※：薬剤の特性により、散布時期を早める薬剤

(注)水産動植物への影響(詳細は令和4年愛媛県病害虫等防除指針P.8参照)